

輝け 田底っ子

第 8 号

文責：校長 益永 一幸

令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ①最後までがんばろう ②上手に伝え合おう ③自他を大切にしよう



スポーツテスト実施 ～ 日常の運動生活の目標決めと実践を～

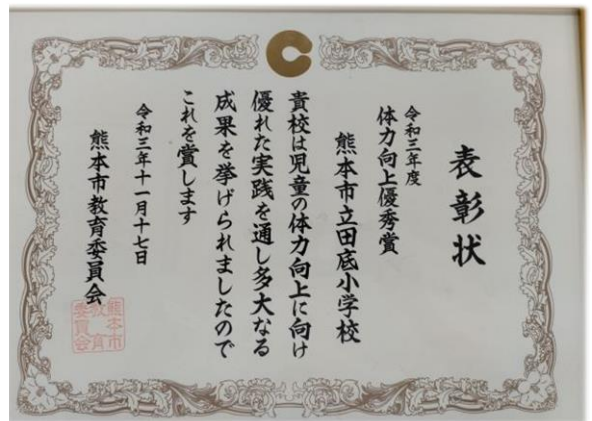
毎年恒例のスポーツテストです。正式名は「体力・運動能力、運動習慣等調査」と言い、スポーツや運動に対する意識や習慣等のアンケート調査も行っています。体力は、生活習慣・学力・心にも大きく影響し、健康で豊かな生活を営む上で大切な力となります。学力テストと同様、熊本市から実施費用が賄われており、熊本市全体で学力と体力の推進を図っています。

このような中、本校でも17日（火）の2～3時間目にかけて全校児童が実施しました。田底小学校は、**昨年度**、熊本市で2番目の賞である「**体力向上優秀賞**」をいただきました。とても光栄であり、今年度もそれ以上の賞がいただけることを期待しています。

しかし、子どもたちの体力低下は全国的に深刻な状況となっています。ここ3年のコロナの影響（運動時間減、メディア視聴増等）で拍車がかかり、08年度の調査開始以来、最も低くなっています。（※長座体前屈だけはコロナ期間中わずかに上昇しているようです。）特に、ソフトボール投げ（投能力）は、ピーク時の昭和60年代からかなり低下が続いています。昭和60年の11歳男子平均は約34m、女子平均は約20mでしたが、令和元年の同年齢の男子平均は約27m、女子平均は約16mとなっています。

田底小学校での普段の遊びの様子を見ていると、ドッジボールを投げる経験は多いものの、野球ボール程度のボールを投げている児童はほとんど見かけません。スポーツテストのソフトボール投げでは、ボールの握り方・投げ方がわからない児童もたくさんいました。私の子どもたちには考えられないことです。

何はともあれ、子どもたちはスポーツテストで自分の力を精一杯発揮しようと頑張っていました。「最後までがんばろう」というチャレンジ目標が発揮されていた時間でした。



さすが、野球部。いいフォームで投げています。

「立ち幅跳び」では腕を大きく振って跳ぶよ！

